

がんばろう 日本! =被害者支援、災害復旧・復興に全力=

砂防施設の安全利用点検を実施しました

例年7月下旬ごろ梅雨が明け、また気温がだんだん上がりはじめ、併せて学校等が夏休みを迎え水遊びやキャンプなど水辺の利用が多くなります。

当出張所の管内の砂防施設（砂防堰堤・護岸・床固等）とその周辺が安全に利用できるよう学校等の夏休みを控えた平成23年7月14日に砂防ボランティアの皆さんと点検を行いました。



指差しによる安全確認

出水によって川の状況が変わっていないか、危険箇所に設置した柵が壊れていないかなどを確認します。

安全に利用することが困難な箇所には、注意喚起の看板などの設置や補修を行います。

今回の点検では、注意看板が木や草によって見えづらくなっていたのでその場で除草を行いました。



除草風景

キャンプ砂防を開催

平成23年8月22日～8月26日の日程で大学生3名を迎え、キャンプ砂防が開催されました。

当出張所では、8月25日に浅間山火山と酸性河川における砂防施設の耐酸工法について学んでいただきました。

浅間山火山について、天明の大噴火の軌跡を渋川市金島から辿り、長野県軽井沢町にある東京大学地震研究所浅間火山観測所にて浅間山と火山のメカニズムについて説明を受けました。

耐酸工法については、現在施工している遅沢第三床固工の現場で遅沢川のpHを確認し、施工方法等について説明を行いました。



耐酸工法の説明を受ける学生



孺恋村 鎌原観音堂を見学

砂防施設現場見学会



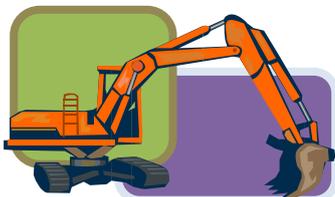
＝土砂災害防止月間の取り組み＝

国土交通省では、土砂災害の防止と被害の軽減を目的に、昭和58年より6月（6月1日～6月30日）を「土砂災害防止月間」と定め、土砂災害防止のために全国統一防災訓練や全国の集いなどさまざまな取り組みが実施されています。

利根川水系砂防事務所では、この期間に砂防施設のある地域の小学生を対象とした砂防施設の見学会を開催しています。

当出張所では、長野原町と嬭恋村の小学生4年生（全8校132名）に参加いただきました。

砂防施設の工事現場を会場に砂防施設の役割について説明や土砂災害模型を使った実験、コンクリートを練る体験をとおして土砂災害から命や財産を守る砂防施設の重要性について学習をしてもらいました。



銘板揮毫採用者表彰

大沢第二砂防堰堤並びに大前大十二床固が完成し、各施設の銘板の揮毫をしてくれた中之条町立六合小学と嬭恋村立西小学校の児童に表彰をおこないました。

